



和田圭祐=1970年5月9日生まれ。広島大学歯学部卒。名古屋大学医学部大学院で医学博士号を取得後、米国ハーバード大学大学院で歯学博士号取得。米国歯周病専門医。米国歯周病学会(AAP)認定医。現在ペンシルベニア大学歯学部でインプラント学ディレクターとして教鞭をとる傍ら、インプラント学術誌において世界最高峰といわれるJOMI誌の編集委員を務める。医療法人東陽会和田歯科医院インプラント・歯周病担当医

アメリカ発



# 最新歯科医療レポート

Vol.12 リポーター：和田圭祐

虫歯や歯周病等で歯を失ったとき、その部位に歯を入れる方法はいくつありますか。取り外し式の入れ歯やブリッジ、インプラントもその選択肢の一つです。ではどの治療方法がより長期的な成功を収めるのか—といった場合、今までははっきりとした答えはありませんでした。しかし最近では少しずつ客観的なデータが出てきているようです。

## インプラントの優秀性

インプラント臨床の権威であるDr. Mischら研究グループは、2008年に発表した論文の中で「奥歯を抜いてしまった場合、その部分をインプラントで治療したほうが入れ歯や固定式のブリッジで治療するよりも周りの歯によいと述べています。10年間の追跡調



ブリッジ：健康な歯を削りかぶせるため、虫歯や歯周病になる可能性が高くなる。管理が難しくなる。



取り外し式の入れ歯：管理が煩わしい、不快感が強い。



インプラント：10年後インプラントの生存率は99%、隣接している歯の生存率も95%と入れ歯やブリッジよりさらに長持ちすることが最近の研究で示された。

抜けてしまった奥歯を入れる際、隣接する歯の将来を考えた場合、インプラント治療が入れ歯やブリッジよりも長期的に安定した治療方法であることを客観的に示しています。

楽しい食生活を送るためには、ますます長期的に安定した治療を考える必要があると思います。アメリカではすでに周りの歯を守るためにインプラント治療を選択する人が着実に増えてきているようです。



インプラント治療

## 残っている歯を長持ちさせる

査を行ったこの研究では、インプラントの約99%の成功率が示されています。さらにインプラントを施した周囲の歯も、同様に約95%の症例で良好な結果が得られていると報じています。このことから、

一生快適な歯で過ごすために日本人の平均寿命は男女平均すると82才で世界一です。そしてさらに増加傾向にあるそうです。こうした傾向から、一生自分の歯で

WADA DENTAL OFFICE **M&Kインプラントオフィス福山** 院長 和田 勝 / アメリカ歯周病専門医 和田 圭祐  
 福山市新市町新市726-1 (ムシバゼロ)  
 新市・和田歯科医院 Tel. 0847-52-6480  
 詳しくは当院のインプラント専用サイトをご覧ください <http://www.wada-implant.net/>